

日中対照言語学会会報 (No.27)

2014年6月1日(月)発行 会報担当: 続三義 加藤晴子

目次

1. 日中対照言語学会第31回大会(2014年度春季大会)開催
 2. 学会総会
 3. 5月常務理事会審議結果(2014年5月25日)
 4. 4月の月例会の報告
- ※ 事務局より

1. 日中対照言語学会第31回大会(2014年度春季大会)開催

日中対照言語学会第31回大会(2014年度春季大会)は2014年5月25日(日)、大東文化会館ホールで、午前9:00から午後17:50まで開催、全国から来た会員と講演者を含む50人が参加した。学会は若い研究者、大学院生が主力メンバーで、発表も若手研究者がメインだった。活発な議論が交わされ、しばしば持ち時間をオーバーした。東京外国語大学早津恵美子教授の講演「日本語における使役文と受身文との似通い」は、元々全く違うと思われる日本語の使役文と受身文について、ある条件のもとで生じる「似通い」性をめぐって、両構文の機能的な性質、使役文の主語(使役主体)の構文的意味を述べたうえで、受身文との似通いが生じる使役文のタイプ、主語および原動詞の種類、さらに両構文の述べる事柄による相異などについて考察し、その条件を明らかにした。

2. 学会総会

議事に先立ち、石井宏明氏を議長に選出した。

議題1 2013年度の活動報告

高橋弥守彦理事長が2013年度の学会の活動、月例会、春季大会及び冬季大会、会員数、中国支部との連携について報告した。

議題2 2013年度の決算、2014年度予算の審議

査読委員長、学会郵送物掛りへの手当ての項目などを決算及び予算に明記すべきことが提案され、了承された。

議題3 任期満了に伴う執行部の交代

高橋弥守彦現理事長は、新執行部の成立についてこれまで学会が取ってきた方針を説明した。学会の常務理事会で新理事長の推薦をし、新理事長が、新副理事長(関東地方1名、関西地方1名)を推薦し、そして新3役で、常務理事並びに理事の推薦をし、そして学会の事務局長、会計、監査、そして学会誌査読委員長、特集編集責任者などの担当者を推薦する。

現常務理事会の推薦を受けた東洋大学続三義教授は全会の賛同で、新理事長に就任。

続いて新理事長の続三義氏より、新執行部の常務理事、理事、並びにその他の人事案を総会に報告し、全会の賛同を得た。

続氏は特に、これまでの学会のホームページ上に、本人の意思が未確認と見られる執行部役員や氏名が誤って掲載されている理事などがあったことについて説明し、今度の新しい執行部は、全員、本人の意思を確認したものであると説明した。

学会の新執行部は次の通りである（敬称略）。

理事長

続三義

副理事長

関東地方：加藤晴子

関西地方：于康

常務理事名簿（計18名）（五十音順）

関東地方：王亜新、王学群、加藤晴子、上地宏一、佐藤富士雄、続三義、鈴木義昭、高橋弥守彦、竹島毅、趙昕、豊嶋裕子、山口直人、安本真弓（13名）

関西地方：于康、下地早智子、張黎、彭飛、余維（5名）

一般理事（常務理事を含まない）（22名）（五十音順）

日本国内（21名）：相原茂、石井宏明、大川完三郎、岡本俊裕、呉川、康鴻音、時衛国、朱継征、白銀志英、戦慶勝、竹中佐英子、鄭新培、白愛仙、平山邦彦、藤田昌志、丸尾誠、森山美紀子、安井二美子、山田留里子、劉勳寧、魯曉琨

中国支部（1名）：朴貞姫

会計：椿正美

監査：石井宏明、橋本幸枝

学会事務局など

事務局長：王学群

学会誌査読委員長：安本真弓

3. 5月常務理事会審議結果（2014年5月25日）

総会の後、引き続き、新執行部による拡大常務理事会が開催された。

出席者（順不同）：続三義、加藤晴子、高橋弥守彦、王学群、安本真弓、劉勳寧、椿正美、橋本幸枝、石井宏明

審議事項

- ① 関東地方の月例会は事務局の手配でこれからも続けて行う。
- ② 学会の特集の原稿募集など、予定通り進める。
- ③ 学会誌に「院生論壇」を設ける案を検討の結果、それよりも若手研究者の育成に学会が具体的に方法を講じていくことで意見の一致を見た。
- ④ 2014年度冬大会について、12月21日（日）に、大阪産業大学梅田サテライトで開催することが了承された。
- ⑤ これからの常務理事会（拡大）には、会計、監査の担当者もおおむね同席するものとした。

4. 4月の定例月例会報告

2014年4月19日の4月例会、続三義会員は東洋大学8号館第2会議室にて「关于日中两语时间隐喻表达——以《天声人语》及其汉语译文为出发点」という題で、報告を行った。続氏は、時間は運動の存在形式であり、物質世界の時間は言語表現上、メタファーで表現されている。それは人間が世界に対する認識が空間認識に基づいており、時間に対する認識は空間に対する認識の基礎の上に行われているので、時間表現は空間表現に依存するゆえんである、としたうえで、1、時間記録の道具、2、時間進行の主体、3、時間進行方式に関するメタファーという3節に分けて、日中両言語の時間表現メタファーを解説し、中国語訳の問題点について分析を行った。会場から活発な議論が交わされた。

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長（Lwn365@yahoo.co.jp）、または竹島毅理事（sisi@crest.ocn.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人4000円、院生2000円となっています。皆さんの入会を歓迎いたします。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年間会費の納入について
2013年度の大会開催時に年間会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いいたします。

訂正：会報26号に掲載された2013年度冬大会時の12月拡大常務理事会の出席者に、藤田昌志先生のお名前が抜けておりました。お詫びと訂正を致します。